NIE実践報告

1．タイトル：☆環境新聞をつくろう（総合的な学習）

2．学校名

徳島県小松島市小松島中学校

3．実践者名（代表者名）

福岡　啓子

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習　222人

6．単元（本時の学習課題）名

環境新聞を考えよう

7．目標（狙い）

環境について書かれている新聞記事を読み、環境についてのさまざまな取り組みや課題を知る。そうして、広い視野に立ってアドプト活動を行いう。最後に、学んだことを生かし環境新聞にまとめクラスで読み合う。

8．評価の視点

新聞に掲載されている環境についての記事を読みとり、自分なりの環境新聞をつくることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

[総合的な学習の時間：15時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①環境について書かれた新聞記事を読み、様々な取り組みや課題を知り考えを深める。（帯の総計2時間）
②環境学習（ワークショップ形式授業）をする。リーダーが環境問題を3つ挙げ，班員（5人ほど）がその下に自分の考えた問題（付箋に記した）を提示していき、クラスでその模造紙を用いて発表する。（2時間）
③新聞社の方に環境に関する講演をしていただき、アドプト活動や新聞の作り方を詳しく学ぶ。（2時間）
④アドプト活動を行う。（2時間）
⑤これまでの知識や考え、行動したことを環境新聞として各自がB4の大きさの新聞にまとめ、クラス内で読み合う。（6時間）
⑥学習のまとめ（感想を書き、自己評価をする）（1時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

①身近な所やいろんな世界の環境問題を新聞を活用することで、興味、関心を持ち、深く考えることができた。
②新聞の作り方を知り、参考になった。

12．成果と課題

①毎日、新聞に触れることができ、いろいろな時事問題などに興味・関心を抱く生徒が増えてきた。
②環境問題の記事によって、そのジャンルの語彙が増えた。
③文章を粘り強く読み、考えることができつつある。
④説明を分かりやすく、おっくうがらずに書くことができる生徒が多くなった。